第 4 章　　「めざす姿」の実現に必要なこと

次世代育成支援対策協議会

次世代育成の「めざす姿」と「めざす姿」の実現に必要なこと

グループワークから得られた「めざす姿」と、そのめざす姿を具体化した地域の目標、現状の問題点から、めざす姿と地域の目標を果たすためにはどのようなことが必要かを整理しました。

次世代育成の目標（「めざす姿」と「めざす姿」の実現に必要なこと）

めざす姿　１．優しく思いやりのある子どもに育つ

地域の目標
人とのつながりがうまくできる人に育つ
判断力があり、自分の意思で行動が決定できる人に育つ

そのために必要なこと（条件）
思いやりをはぐくむ教育がなされる
きちんとしつけができる
夢のある思春期をおくることができる
家庭での個性的な子育てが行われる
親同士が子育てについて交流し学習できる
子どもが交流できる場所や機会が確保される
ボランティア活動ができる

めざす姿　２．親と子がともに育ち合い、健康で豊かな人生をおくる

地域の目標
人間性をはぐくみあえる親子関係ができる
仕事をしながら十分満足できる子育てができる
仕事と家庭のバランスを考えて行動できる
健康を保った生活をおくることができる
育児の大切さを知り、育児の方法を学ぶ
育児のストレスが解消される
親が子どもとともに充実した人生を送る

そのために必要なこと（条件）
育児の適正な情報を供給し、保護者の判断力を養う
十分な保育サービスが確保される
親子の健康を保つ制度や関係機関、住民活動が確保される
育児をする親の就労の場が確保される
両親ともに育児に積極的に参加できる
親が自分の時間を持ち、自分の人生を満喫できる
十分な学力や「生きる力」を身につけ、社会に適応できる人に育つ
人間性をはぐくみあえる親子関係ができる

めざす姿　３．子どもを地域（ふるさと）の宝として大切にみんなで育てる

地域の目標
地域の安全が保たれる
地域の人々が地域の子どもを大切に思う
地域で子育てに適した環境が得られる
親になりたい人が「親になること」を地域ぐるみで応援する
豊かな子育てが経験できる地域づくりをする

そのために必要なこと（条件）
子どもが犯罪に巻き込まれない
事故（転落、溺水など）防止
交通事故被害の防止
未成年の喫煙、飲酒、薬物乱用、少年非行の抑止
世代間交流の機会が確保される
公共施設の安全と利用しやすさの確保
子どもの健康を害する環境をなくす
結婚機会の援助
不妊に対する相談援助に取り組む

計画を推進していくために、スローガンを掲げます。

計画推進のためのスローガン

子どもを見まもる目と手と心